

アジア・オセアニア 豆 知 識



急速な都市化の進展で成長加速が期待されるアジア

2030年のアジア（日本を除く）のメガシティ（超大都市圏）は21都市圏に上る見込みであり、中には、都市人口が2016年から30%を超える伸びとなる都市圏もあるなど、急速に都市化が進展するとみられます。都市化の進展は、人・モノ・カネの流れを通じて、経済を活性化させると考えられます。急速に進むアジアの都市化が、同地域の成長加速につながる事が期待されます。

2030年のアジアのメガシティは21都市圏に

国連の発表によると、推定人口が1,000万人を超えるメガシティ（超大都市圏）は、2016年には世界に31あり、2030年には41に増加する見込みです。そのうちアジア（日本を除く）の都市圏は2016年の15から2030年には21となり、中国とインドがそれぞれ7都市圏を占めています。

現在、世界最大の推定人口を擁する都市圏は東京で、2030年における人口は若干減少するものの、その地位は変わらないと見込まれています。しかし、2030年の上位10が、日本以外、ほとんどが新興国となる中、アジアがそのうちの6都市圏を占めます。加えて、2016年から30%を超える伸びとなる都市圏もあるなど、急速にアジアの都市化が進展する見込みです。

都市化が進むことで、人・モノ・カネの流れが経済を活性化

都市化の進展によって、社会・生活の基盤となる電力・水道・道路や住宅などのインフラ整備が進むほか、投入される資金が経済を活性化させると考えられます。また、都市人口の増加は、消費市場を拡大させるなど、経済成長を様々な方面から後押しすると考えられます。

今後、著しい都市化の進展が見込まれるアジアは、中長期的な成長ポテンシャルに富むといえ、金融市場においても、投資魅力の高い地域として、世界の注目を集めるものと期待されます。

<2016年を基にした世界の都市圏の人口ランキング>

	都市圏（国）	2016年 （万人）	2030年 （万人）	増減率 （%）
1	東京（日本）	3,814	3,719	-2.5
2	デリー（インド）	2,645	3,606	36.3
3	上海（中国）	2,448	3,075	25.6
4	ムンバイ（インド）	2,136	2,780	30.2
5	サンパウロ（ブラジル）	2,130	2,344	10.1
6	北京（中国）	2,124	2,771	30.4
7	メキシコ・シティ（メキシコ）	2,116	2,387	12.8
8	大阪（日本）	2,034	1,998	-1.8
9	カイロ（エジプト）	1,913	2,450	28.1
10	ニューヨーク（米国）	1,860	1,989	6.9

（注）都市圏は国連の定義により都市部に隣接する市街地を含む。
（出所）国連のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。